

# 新入社員 受け入れ手帳

4月には新入社員が入社してくる。

そして3月は新入社員教育を担当する先輩社員が

OFF-JTやOJTでどのように仕事を教えていくのか、

頭を悩ませていることが多い。

後輩には成長してほしいが何を伝えればいいのか。

教える上で外してはならない

大切なことは何なのだろう。

取材・文/上阪 徹

ビジネス  
マナー  
P.19



ロジカル  
シンキング  
P.22



タイム  
マネジメント  
P.24



身に付けてほしいスキル①

## ビジネスマナー



# 相手が心地いいと思う 思いやりや気遣いを

日本ホスピタリティ・マナー研究所 代表 松澤萬紀

新入社員に身に付けてほしいビジネススキルの中で、必ず上位に入るのがビジネスマナーだ。単なる礼儀作法ではなく、ビジネスマナーにおける根本的な考え方を元CA（キャビンアテンダント）の松澤萬紀さんに伺った。

挨拶はすればいいこと  
うしろめではない

新入社員向けのマナー研修をご依頼いただく際、何を強化していきたいかを必ず確認しています。その一位が挨拶です。挨拶は、人間関係が始まる第一歩。挨拶ができていれば、それだけで好印象がもれます。しかしながら、新入社員の方は挨拶をしない人が多くいます。挨拶をしない新入社員に対して、先輩社員、上司はシビアな意見を持っています。実際に

- 1. あの子嫌い、だって挨拶しないから
- 2. 挨拶もできない子に教える気がしない
- 3. 学生じゃないんだから、挨拶しないことを注意するのもイヤ
- 4. まだ仕事ができなくても挨拶はできるでしょ
- 5. 挨拶しない子は仕事ができるように見えないし、たとえ仕事ができても評価する気にならない

他にも、話しかけづらい、やる気があるように見えない、感じが悪いなど、挨拶ができないだけで、こんなにデメリットがあります。逆に挨拶ができる新入社員には、「感じよく見える」「話しかけやすい」「明るく親しみを感じる」「印象に残るから名前を覚えられる」などの声が上がります。挨拶だけで、これほどの差が出るのです。

私は、私が緊張して部屋に入っていると、誰よりも早く席を立て、私に体を向け、「よろしくお願ひします」と挨拶してくださいました。今も鮮烈に心に残っています。そもそも挨拶はすればいいというものではありません。相手に届いてこそ意味があります。そのためポイントが三つあります。一つは笑顔であること。今はマスクをすることが増えています。それでも笑顔かどうかはわかります。笑顔で声を出すと、笑聲になる。ドレミファソの